

都道府県別指導体制状況(令和8年3月31日現在)

※GAPについて、高い水準で指導できると推定される指導員数(指導に必要な知識を習得するための研修を受講し、3件以上の指導実績がある者の数)

(単位:人)

都道府県	指導員数
北海道	340
青森県	175
岩手県	48
宮城県	15
秋田県	52
山形県	199
福島県	309
茨城県	212
栃木県	81
群馬県	21
埼玉県	124
千葉県	48
東京都	53
神奈川県	20
山梨県	19
長野県	121
静岡県	136
新潟県	109
富山県	53
石川県	163
福井県	74
岐阜県	120
愛知県	194
三重県	258
滋賀県	43
京都府	112
大阪府	29
兵庫県	72
奈良県	18
和歌山県	17
鳥取県	13
島根県	105
岡山県	18
広島県	17
山口県	101
徳島県	33
香川県	75
愛媛県	75
高知県	61
福岡県	178
佐賀県	66
長崎県	21
熊本県	70
大分県	136
宮崎県	140
鹿児島県	38
沖縄県	93
合計	4,475

出典：農林水産省農産局農業環境対策課調べ（都道府県から聞き取り）